

## ○これまでの検討

火山防災に係る調査企画委員会において、平成30年度には「降灰対策」、令和元年度には「噴火予測・前兆現象の評価」「噴火後の推移の評価」「ハザード予測（影響範囲）」「観測」について、行政ニーズを踏まえた施策・研究の方向性を検討

## ○テーマ検討の方向性

- ①これまでの検討のほかに、行政ニーズの観点から、火山防災として検討が必要な事項の確認
- ②これまで検討した施策・研究の方向性のうち、さらなる検討が必要な事項の確認（テーマ検討に必要な視点）
  - ・単独機関では解決が困難で、関係機関の連携が有効な事項
  - ・短期間で行政施策への反映が見込める事項

## ○今後の検討の進め方

テーマ検討の方向性の①及び②の事項について、必要に応じ、委員から提案された内容について、次回の火山防災に係る調査企画委員会で検討 次回は7月下旬～8月上旬を予定